

議会活性化 特別委員会会議録

令和6年6月13日(木)午前10時00分
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

議会活性化特別委員会

日 時：令和6年6月13日（木）

午前10時～

場 所：3F 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

- 1) ・議会基本条例の検証について
・議会報告会について
- 2) その他

4 閉 会

出席議員（10名）

1番	鬼田岳哉君	2番	宮内勇二君
3番	戸田大我君	4番	内田和彦君
5番	山崎晴生君	6番	真家功君（副委員長）
7番	香取憲一君	10番	鈴木俊一君（副議長）
11番	村田春樹君（委員長）	13番	谷仲和雄君
14番	長島幸男君（議長）		

欠席議員（なし）

議会事務局職員出席者

局長	長谷川 勝彦
次長	須賀田 千恵子

午前9時58分 開会

◎開議の宣告

○副委員長（真家 功君） 皆さま、改めましておはようございます。

定刻前でございますがお揃いですので、ただいまより、議会活性化特別委員会を開催いたします。

委員長挨拶、村田委員長をお願いします。

○委員長（村田春樹君） 皆さま、改めましておはようございます

議会のほうは明日が最終日ということで、その前に議会活性化特別委員会のほう開きまして、皆さまお集りいただきまして、大変ありがとうございます。前回の議事録のほうをお配りさせていただいております。議事録にはついては公表前なので、委員会が終わり次第回収させていただきたいと思っております。

また、前回議運のほうにはかつてほしいということで、議会報告会の内容なんですけれども、一度議運のほうにお話しをさせていただいたところ、議運のほうでは活性化委員会のほうで議会報告会のほうをお願いしたいということで、受け賜りました。

また、議運のほうでは、様々な市民の方の意見を聞けるようなやり方でやっていただきたい、今までのやり方ではなく、広く市民の意見を聞けるような報告会というふうにして欲しいという話しを受けました。そういった中で、今回議会報告会についての案ということで、意見交換会という形でやりたいと思いますので、是非とも皆さま方のご意見を聞かせていただければと思います。

それでは、本日の議会活性化委員会のほうよろしくをお願いします。

○副委員長（真家 功君） ありがとうございます。それでは、協議に入ります。

協議の進行は、村田委員長をお願いします。

◇

◎協議事項

1. 議会基本条例の検証について

・議会報告会について

○委員長（村田春樹君） それでは、本日の関係資料につきましては、スマートディスカッションに保存されていますので、よろしくをお願いします。

それでは、早速議事に入ります。

次第のほうでは、協議事項として議会基本条例の検証について、議会報告会についてとあるんですけども、先に議会報告会について皆さまとお話しをさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

案のほうなんですけども、議会報告会、意見交換会についてということで、開催日の案なんですけども、令和7年1月から2月頃に開催するというので、開催方法の案としましては、ワールドカフェ方式を用いた意見交換会ということで、下のほうの黒枠のほうにワールドカフェ方式について記載されていますので、目を通していただければと思います。開催内容の案としましてテーマを設定して行う、また、2番目として各種団体を呼ぶような形で、例えば例としてあげているのがPTAだったり、地区のコミュニティなどということであります。3番目に議会報告会資料を作成して、それを配布するという形でやりたいと思っております。報告の内容なんですけれども、常任委員会、特別委員会のほうなんですけども、令和5年12月から令和6年11月までの活動を掲載する内容とさせていただきたいと案をつくらせていただきました。

また、4番目なんですけども、今後のスケジュール案として、本日、令和6年6月13日開催方法、内容について皆さまと議論をさせていただきまして、その後、明日、全員協議会にて議会報告会を開催するというので、報告をさせていただきたいと思っております。その後、令和6年7月または8月に開催内容について特別委員会を開き、皆さまと議論をしたいと思っております。そのあと、令和6年9月第3回定例会のときに、開催内容について皆さまと議論をしていきたい。さらには10月11月あたりでその内容について煮詰めていく。第4回定例会のときに、議会報告会の資料のほう各常任委員会、特別委員会のほうをまとめていただいたものを、しっかりと報告できる形にまとめていく。それで、1月または2月に意見交換会を開催したいというようなスケジュール案となっております。皆さま方のご意見聞かせいただければと思いますので、よろしく願いいたします。案という形であるんですけども、このような形の流れでよろしいですか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

香取委員。

○7番（香取憲一君） 改めて仕切り直して、議会意見交換会っていう名称どうなんですかね。

○委員長（村田春樹君） 議会報告会として今要綱が出ているので、それについても今後例えば議会意見交換会という形の、名称を変えるようにしなければいけないところもあって、例

えば平成 30 年その頃に、取手市のほうで議会報告会から議会意見交換会に名称を変えたというのがありますので、小美玉市議会としましても、その名称の変更も今後考えていかなければいけないかなと思っておりますので、そのことに関しましても、今後議運のほうにもはかっていきたいと思っております。

香取委員。

○7 番（香取憲一君） わかりました。

○委員長（村田春樹君） 真家副委員長。

○副委員長（真家 功君） テーマを設定して行うということになると、意見交換会になりますよね。この議会報告については、意見交換会の中に資料として配るだけですか。

○委員長（村田春樹君） そうですね、今回ワールドカフェ方式でやる場合テーマを設定して、ここにやり方書いてあるんですけども、それが終わって報告するとか、その前に報告するというわけではなくその前に資料として皆さま方にお配りして、1年こういう活動をしてきましたと資料をお渡しして、それはその場で読んでもらうか、終わってから読んでもらうかはわからないですけども、そのままワールドカフェ方式の意見交換会に入っていきような形をとりたいなと思っているんですけども。

香取委員。

○7 番（香取憲一君） 今のお話で流れは理解できたのですが、全体のことは1つの資料にして、これからまとめていくと思うのですが、たとえばテーマを決めて、集まってくれる人のテーマに絞られた皆さんが集まってくると予想するじゃないですか、例えば子育て世代の皆さん、全体の資料を渡した中で、この中で小美玉の行政の中で、このたくさんある中で、今回集まっていた皆さんは、一番ここに焦点を当てて、こういうところが特色ある、こういうところが問題あるんじゃないかというところをピックアップして、皆さんそのために集まっていたので、今日は忌憚なく意見交換をしましょうみたいな感じだといいと思うんですよね。全体としては渡すんですけど、その中でクローズアップしたところをもっと浮彫にしてお知らせしていくというほうが、わたしはいいんじゃないかと、そういうことはこれからだと思うんですけど、今の流れ的にはそういう感じのほうがいいのかなと。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。今回考えているものとしましては、今、3番の開催内容案としてありますけども、例えばPTAとか育成会とか子どもたちに関わる、あとは福祉に関わるとかそういったことで集まってもらったとしたら、それに沿ったテーマの内容として深掘りできるような意見交換会にしたいと思っておりますので、例えばそこに集まってもらっ

たのに農業の話だとか、やってる方もいらっしゃると思いますけど、少しかけ離れちゃうところがあるので、テーマに沿ってお声かけする団体の皆さま方に沿った内容にしたいと思いますので、そのテーマのほうもそうですし、呼ぶ団体とかそういったところも委員の皆さまとお話しを詰めていって、どういった方を呼ぶのか、どういったテーマを基に意見交換するのかというのを今後決めていきたいと思っておりますので、何かそういったところでも案を出していただければと思っております。

香取委員。

○7番（香取憲一君） 今おっしゃるとおりで、理想は全般に広く浅くじゃないですけどそれができればいいと思いますが、中々難しいと思うのでテーマを絞って。宮内議員から前にご意見いただきました、石岡の議会報告会を傍聴したときに収集がつかないような感じだったというのをもう1回お聞きしたいのですが、あのときは何かテーマを絞られたのですか。

○2番（宮内勇二君） テーマは、各委員会ごとにその内容でお願いしますと言っても、市民はどんどんずれてしまうので、そこら辺でまとまらなくなっていったようなイメージです。

○7番（香取憲一君） 常任委員会ごとにやっていたのですか。

○2番（宮内勇二君） そうです。

○7番（香取憲一君） だからだ、ありがとうございます。

○委員長（村田春樹君） 谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） 石岡の議会報告会わたしも見学行って来たんですけども、基本的には各常任委員会でテーマを絞って、そのテーマについて市民の皆さんにそれに対する質疑の中で、来場の皆さんというのは、市民の皆さんいろんな考え方があってこれは普通なわけであって、それに対する質疑に議員さんが的確に答えられるというこの形が理想。質問に対して例えばこれは石岡の例ではないですけども、質問の趣旨をよく聞いて、きちんと答えられる能力がないとまとまらなくなっちゃいますよね、そういうとこだと思います。これは石岡のことじゃないですよ、一般的な話で。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

今回、ワールドカフェ方式というのは、今までやっているような対面するような形ではなく、自分たちがいるほうが議員さん側で、反対側に市民の方がいて、モニター見て説明して報告するという形ではなく、黒い枠でも今囲んで出せてもらっているワールドカフェ方式ということで、カフェでくつろいでいるリラックスした雰囲気の中に行われる意見交換という形で、各テーブルいっぱい用意しておいて、そこに4人から5人の少人数で各テーブルごとにテーマを出

して話合っという形で、市民が議会に対して対決するような形ではなく、しっかりと対話ができるような形をつくっていきたいなと思っておりますので、今までのやり方ではなく一新してということで、例えば県内でいったら取手市なんかはワールドカフェ方式で何回かやっているの、そのことについても調べて事務局に資料全部渡してしまったんですけど、その形でやっていきたいなとは思っています。一度少し会議の際中に皆さんにお渡ししますので、ざっと見ていただければと思います。自分も今回ワールドカフェ方式を初めてやるものですから、議員の皆さんでもやったことある人ももしかしたらいるかもしれませんが、いろんな意見を出してもらって今までの議会報告会ではなく、新しい議会報告会としていくような形づくりをしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） これは、小美玉市議会報告会実施要綱も変えていくような形ですか。

○委員長（村田春樹君） そうです。報告会というものになっているのに関しましては、今後意見交換会ということで、直していくような形になるのかなと思っておりますので、小美玉市議会意見交換会実施要綱みたいな形。そのあとに関しましても、議会報告会という形になっているものを、議会意見交換会ということで、改める形にしたいと考えています。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 今の要綱だと報告会使用というか、内容が全部班の構成だとか、役割分担だとか、会場、報告会次第というのまで要綱で平成27年に定められているものなので、これはもう全部一新するような形になってきますかね。

○委員長（村田春樹君） そうですね、ある程度見ていくと、第4条の中で報告内容というものがあるんですけども、そこに関しても変えていくべきなのかなと思っております。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） その開催方法に関してそれに見合っやっていく、要綱のほう今、現状あるものを変えて修正していくような形でいいですかね、わかりました。

○委員長（村田春樹君） 修正に関しましても、明日全協のところ、議会報告会について皆さま方に報告するんですけども、その際に、小美玉市議会報告会実施要綱の部分に関しましても修正をしていかななくてはいけない旨の話をさせていただきたいと思っております。

香取委員。

○7番（香取憲一君） 先ほどのやりとりの中で、ざっくりとしたタイムスケジュール的なもので、明日の全協までに書面に起こして、いついつまでにこういうあれというのは、だいた

いディスカッション共有できるような形、どうなんですか可能なんですか。

○委員長（村田春樹君） 今日案からこういうふうにやっていきましようと思えば、明日報告できると思います。それで、本日お配りしている資料、これを今後のスケジュールというところですけども、これは活性化のスケジュールではあるんですが、明日議会報告会について報告する際には、各常任委員会、特別委員会の委員長、副委員長に資料をまとめていただるようにお話しをさせていただきたいと思っております。9月の定例のときに常任委員会、特別委員会のほうで、各委員長、副委員長のほうから委員の方に報告をいただいて、報告内容をまとめていただくような形をとりたいと思っております。

香取委員。

○7番（香取憲一君） ありがとうございます。

○委員長（村田春樹君） 谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） 意見交換会の中のテーマにおいても、必ず執行機関と議決機関の役割を踏まえて、例えば意見交換会に出てくるテーマで現在市はどうなっているのか、それをなった経緯でどういう議決をしてなったのかというのはその中で必ずテーマの話の中で出てくるので、議決とかそれを飛び越えて意見交換というのは中々議会の立場としては難しい。その意見交換会の中で、今度市民の皆さまからいろいろな要望についても、わたしらはそれをいろいろ広いあげて議会として今度はしっかりと市に繋げるか、そういう議論を議会でしていきますと、そういうスタイルになると思います。ですから、意見交換会の中でも例えば関連する議決とかは各テーマによっては常任委員会とか、本会議でこういう議決が今こうなっていますというところ、こここのところはそこに意見交換会に入る議員の皆さんは全部知っていないといけないというのが前提の意見交換会だと思います。それだけお伝えしておきます。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほかございますか。

真家副委員長。

○副委員長（真家 功君） 今までの議会報告というのを見てると、議会報告をしました、意見する人はみんな議会に対してではなく執行部に対しての要望がほとんどなので、我々はそれをお伝えしますという形しか答えがないんですね。それってほんとに議会報告会がこれでいいのかということが前からあったので、こういうワールドカフェ方式もいいのではないかとこの案になったわけですね。確かに要望って、執行部に対する要望になっちゃうんだよね。

○委員長（村田春樹君） 谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） さっきの補足で、あともう1つは、市民の皆さんにいろいろな意見に対して例えば今、市がこういう議会案件で質疑を通してやったとしても、中々進まない案件である。それはなんで進まないかというところも議員としてなんで進まないかという理由とかも含めた説明、意見交換を。そうしていかないと、先ほど副委員長が言ったように、要望を聞くだけになってしまう。その要望は議会からも届けてますけども、今、市はこういう理由でもう少し時間がかかりますというその説明を議員はしっかりしないと、中々話はそこのところでただ御用聞き、なんでもかんでも聞くのではなくて出来る出来ない、出来ない理由をきちんと説明できる、そこのところが一番議会としての説明の部分だと思いますので、そこをきちんと踏まえて意見交換に臨まないと、中々まとまらないかなと思います。

以上です。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほかございますか。

香取委員。

○7番（香取憲一君） 今の谷仲委員の言うそれがまさに活性化で、そこの技法というか、今まで成し得なかったというか、市民の皆さんに相對したところで技術を磨くということがまさに我々の活性化だと思うので、わたしそう思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

そのほかございますか。

[「発言するものなし」]

○委員長（村田春樹君） それでは開催日のほうは、1月にするか2月にするか。

○2番（宮内勇二君） スケジュール案であげてもらって、今、言うことじゃないと。

○委員長（村田春樹君） スケジュール案あるんですけども、案を消してこのままスケジュールとしてやることでよろしいですか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） 開催内容にしても、テーマの設定を今後皆さま方と話ししながら、こういった団体とやるのか、そういったことも今後決めていくという形で、ワールドカフェ方式でやるということで、皆さんよろしいですか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） そしたら、明日の全員協議会で報告させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、次の議会基本条例の検証についてということで、皆さまのタブレットのほうに、議会基本条例検証評価シートということで、出させていただきます。こういった形で評価シート皆さんよろしいですかね。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） この評価ということなのですが、評価の理由、今後の方針ということで、皆さま方と議論しながらやっていくのか、それとも皆さま方に次回の委員会までに、各自評価をしていただいて、委員会のときに出してもらいたいような形にするかということで、いろいろと皆さま方の意見を聞きたいと思っているんですけども、その内容としましては、今ここで皆さま方とひとつひとつ評価をしていくのか、それとも次回の委員会のときまでに評価を付けてきていただいて、その後評価についてひとつひとつ皆さま方と検証していく形のほうがいいのか、ということなんですけど。

真家副委員長。

○副委員長（真家 功君） 事前にこれをタブレットのほうに送らせてもらったので、ある程度皆さん見てもらったので、1条ごとに皆さんに聞きながら、意見あわせしていったほうがいいのではないですか。いわゆるABCとありますが、Cの今後努力を要するところだけを、この22条の間にいくらかあるかというのを拾い上げて、その部分を検討するということがよろしいのではないかと思うんですよね。A 十分達成された、B 概ね達成されたというのは感覚の問題で、ほぼOKだと思えますね。Dの評価なしも当然ありますので、このCの部分に対して皆さんで、何条がCなのかということで聞き出して、意見出たところを検討する形のほうがいいのかとわたしは思いました。

○委員長（村田春樹君） 香取委員。

○7番（香取憲一君） 副委員長がおっしゃるとおりですけども、その前に皆さん持ち帰って各自でそれなりに、新人の皆さんは皆さんなりに、我々2期生以上の者は2期生以上者なりに評価を付けてもらって、提出期限を何日までにということでデータをつくってもらって、例えば第何条がAとか、そこでこんな感じでしたけど皆さんどうですかみたいな感じで初まるのもいいんじゃないかと思うんですけど、どうですかね。

○委員長（村田春樹君） 今回皆さんに、検証評価シートを見てもらったと思うのですが、こういう形でやっていくということで大丈夫ですか。この評価シートで皆さんやっただくということで、わかりました。

真家副委員長。

○副委員長（真家 功君） ちょっと聞きたかったんですけど、自分なりに評価しようと思ってやろうとして、メモというところを押して、自分で ABCD って書き込めるのかと思ったらできなかったんですけど、できなくていいのかな。

○2番（宮内勇二君） できないですね。

○副委員長（真家 功君） できなくていいんだよね。本当は書き込めればみんなで意見交換できると思ったのよ、できなかったんだよな、俺ができないのかなと思って。

○委員長（村田春樹君） このやつに関しましても、ワード、エクセル、それで送ってもらいたい人は、事務局のほうに言っていただいて。

○議会事務局次長（須賀田千恵子君） 全員送ります。

○委員長（村田春樹君） あとは紙ベースで自分で印刷してきて、出してもらってもいいですし、やり方はそれぞれ皆さま方にお任せしますので。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 各委員さんにエクセルかワードで出してもらって、次の委員会とかに結果的などころを一人ずつ言っていくとあれなので、1回提出期限決めて、全員提出してもらって事務局のほうに、A が何人とか、B が何人とかっていう感じで取りまとめてもらって進めていったほうがという形で大丈夫ですか。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。一度提出期限例えば次回の委員会までと決めたとして、そのときにまたすぐ検証初めるのではなく、一度皆さんで集めたやつをこちらのほうで全部集計させてもらってから、さらに次の委員会のときに、内容について皆さんと先に資料として出しますので、そのときに皆さんと検証について評価をひとつひとつ見ていくというのも大事ですけども、集計をさせてもらってからということですよ。集計をさせてもらって、その後皆さんと一緒に全部確認をしてやっていくということで。評価のほうなんですけれども、D 評価、評価の該当なしとなる部分がありますので、そこについては共有していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。一度評価シートのほう見ていただければと思いますが、第1条目的の部分、この条例はということで、唯一の議決機関としてということで第1条については、評価の該当なしということでDとさせていただきたいと思っております。

また、第2条の基本原則についても評価の該当なしということで、やらせていただきたいと思っておりますので、それ以外のものに関しまして、皆さま方に、あとは第12条議員定数、第13条の議員報酬、そこにつきましては評価の該当なしということでD評価で、それ以外のところについてABCを決めていただいて、評価をしていただきたいと思っておりますので、よろしく願いし

ます。提出期限なんですけれども、次回の委員会前までに間に合いますか。次回の委員会といってもまだいつか決めていないんですけど、7月にするか8月にするかというところなんですけれども、まだそちらのほうまで話し進んでいないのですが、取りあえず次回の委員会前に集めて評価を集計して委員会のときに、それを出させていたいただきたいと思いますので、そんな形でいいですかね。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） 各条項ごとに、逐条解説というのが入っているかと思うのですが、逐条解説に照らし合わせて評価をしていくのかなと思うんですけども、逐条解説についてはどういうふうに捉えていきますか。Dにチェックしたところでも、逐条解説の解説に踏まえてそれになっているかっていうところが大事なわけであって、さっき資料で載っているのはあくまでも条文でしょ。この条文の意味を解説している逐条解説ってあるんですけど、そこを踏まえてやらないといけないからここは評価するしないじゃなくて、全部入れたほうがいいのかと思いますよ。それで議員定数に関することとか、そういうところに関しては、さっきどうやっていくかということだと思うのですが、それは特に別にしても最初今日入っている資料のところ、基本的には全部埋めていく形のほうがいいのかではないですかね。逐条解説照らし合わせればすぐわかる話しなんですけど。

○委員長（村田春樹君） わかりました、ありがとうございます。今の谷仲委員の意見の形で、全て評価していくという形でよろしいですか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） そういう形で皆さま方のほうに、第22条まで全部評価してもらうような形で進めていきたいと思います。

真家副委員長。

○副委員長（真家 功君） 今の意見はDは共有しなくて、それぞれの考えの基でDがあるという意味ですか。

○委員長（村田春樹君） はい。

○副委員長（真家 功君） 鬼田委員、意見とか。

○1番（鬼田岳哉君） 結構です、大丈夫です。

○委員長（村田春樹君） 評価のほうの提出期限とか、そういったものを決めたいと思いますので、次回の委員会開催日のほうをこちらで今決めさせていただきたいと思うんですけど、よろしいですか。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） 7月17日水曜日午前10時からということで、提出期限としては、前の週の水曜日までに提出していただくような形で。7月10日までに、検証評価シートのほうを各自提出していただければと思います。その後集計させていただきまして、17日の委員会前に、皆さま方のほうに集計した内容のほうを提示したいと思いますので、よろしくお願いします。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） 1週間前というのは、事務局さん再度としては大丈夫なんですか。

真家副委員長。

○副委員長（真家 功君） 13日、14日、15日が休みなのです。

○委員長（村田春樹君） その件に関しましては、事務局と相談の上決めさせていただきたいと思いますので、7月17日開催ということで、よろしくお願いします。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） このあとの流れというか、みんなで評価を出してABCだったり付けて集計して、そのあとどういうふうに考えているのでしょうか。

○委員長（村田春樹君） その後ですけれども、検証していき、報告書という形で案を作成して、その後検証を行う、検証結果の最終確認をして議会運営委員会や議会全員協議会のほうで報告させていただき、最後には公表するような形で市議会ホームページであったり、議会だよりであったり、そういったもので公表させていただきたいと思うのですけれども。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） 評価がどうやってこれだけの人数で評価を出して、平均値で出していくのか、評価をAにするのかBにするのか多数決なのか、だったら集計しても意味がないんじゃないとかね。Bが3人いたAが5人いたっていても意味がないような気がするんです。評価をどういうふうにやってこの人数でまとめていくのか。評価をBにするのかAにするのかというのは、どういうふうにやって個人で出しても意味がないんじゃないかと。個人で出すのは意味があると思いますけど、持ち寄って俺はAだと思うBだと思うというのも変な気がしますし、今後の流れというか、評価をどのように出していくのかというのを具体的に見えないと、評価する意味がないような気がするのです。

○委員長（村田春樹君） 真家副委員長。

○副委員長（真家 功君） わたしがこの皆さんの中で、Cをどれだけ洗い出させられるかと

いう考えで、例えば A とか B は OK だと思っんです個人の感覚なので、C という判断をしたものに対して、皆さんで本当にこれが C なのとかを洗い出して条例改正になるので、ここの中からピックアップしてというそんなに多くはないと思っんだよね。

○委員長（村田春樹君） 今、真家副委員長が言ったように、C をどれだけ洗い出せるかそこを変えていかなければいけない部分なのかどうか、そういったところも議論していくような形なのかなという。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） そうすると、C が過半数出たところを検証していくような感じになっていくのかな。

○副委員長（真家 功君） 判断って難しいよね。

○10番（鈴木俊一君） 難しい。評価って本当に難しい。先生もいないし、評価って全体の中でやるのは難しいと思っんですよね。多数決でも難しいですし、何か基準があるわけでもないし、わたしがイメージしたのは、個人でこれをやってきたとして、C の多いところを見つけ出した、それで全員で評価するのって難しいと思っんで、これこそワールドカフェじゃないですけど3人とか3班とかにわけて、1条から5条は、5条については1班でやってくれとか、7条はCが3つあった場合だったら、6個あったとしたら、1グループ2つぐらいずつ評価をまとめて、何人かでまとめていくようなだったらできるのかなと思っって、全員でこれ俺はCじゃないと思っとかってというのは難しいような気がするんですけど。

○委員長（村田春樹君） 香取委員。

○7番（香取憲一君） 検証シートの中に、A とか B とかの脇に理由という欄があったので、そこはある程度それなりに、議員さんなりに個人の見解ですけど、それなりに評価した理由を賦課するわけじゃないですか、それが資料として出て、こういう視点もあったねとか、これがこういう視点だからこんな評価になっちゃうよねというのは、共有することは悪いことではないと思っるので、その中でちょっとずつそぎ落としながらというのも変ですけど、前回の会議でもあくまで検証は手段だとわたしは感じているので、その中である程度まとまった検証結果をみんなで議論しながら絞って行って、それが3つになるか、4つになるかわかりませんが、そこをどうしていくかということ提案していくのも、答えが出ないとしても浮き彫りにして投げかけていくということが活性化するということだとわたしは思っるので、そこをスケジュール上にどういうふうにやっていくかの話だと思っんですよね。

○10番（鈴木俊一君） 1回出してみないとわからないのでね。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） この基本条例というのは、小美玉市議会の中では最高規範という位置付けの条例になります。例えば第1章、総則、目的、第1条というところから基本原則第2条、今度第2章、議会及び議員の責務と活動原則、こういうふうに入っていくんですけども、一番わかりやすい話しで言うと、憲法があって法律がある、これを憲法に例えると、これも条文に対して議会ができているかどうかという、そういう取り組みになってくるのかなと、評価というのは。例えば議会でこうやってるからこの条例を中々変えていいものかどうか、これは原則とか基本理念のところです。具体的に例えば議会報告会ですとか、そういう部分に関しては、その時々に応じた一番ベターなやり方というのがあるかと思うので、そこは今度変えていくところも必要になってくるかもしれない。大事なところは、あくまでもこの条例に対して今、市議会ができていくかという評価でいいんですよ。

○委員長（村田春樹君） はい。

○13番（谷仲和雄君） そこを確認しておかないと、そうですね、その確認です。

○委員長（村田春樹君） 香取委員。

○7番（香取憲一君） 我々ばかり話しているので、是非皆さんの何かしら意見を聞いたほうが、どうですか。

○委員長（村田春樹君） 内田委員どうですか。

○4番（内田和彦君） 物事を評価するのに、今、人は声かければそれぞれ違う意見がありまして、最終的な落としどころとか、Aの十分達成されたということになるのかと思います。その上で評価というのはそれぞれいろいろあっていいと思うので、それが最終的に我々の為、市民の為に今後使いやすいというような評価になればいいかなということで、その辺のところは喧々諤々でやっていったほうがいいと思いますし、最後意見中々まとまらないですけど、細かくまとめていくような形になっていけばいいのかなと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

宮内委員。

○2番（宮内勇二君） 検証するということで、逐条解説を読んでみたんですけど、それと照らし合わせながら皆さんの意見出してもらって、集計してもんでいけば今の話のとおりでいいのではないかと思います。

以上です。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 正副委員長のほうでシート出していただいて、取りあえず初めてじゃないですか評価って、我々が今後評価をしていく、今後の議員さんたちがこういう立場になったときに、そういうふうに今の現メンバーではどういふうにやったのかというのをしっかりとみんなで話し合いながら、最初からうまくいくわけではないので、いろんなことを試しながら、いい物ができればいいのではないかと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

戸田委員。

○3番（戸田大我君） 基本条例見直しとか評価とか、自分たちの活動を評価することだと思うのでいいと思うのですが、手段みたいな話かなと思っていて、目標というか理想とかこんなふうにしたいな、我々も議員になって議会こんなふうになっていろんなところが見えていくと思うのですが、こんなふうになってくると市民に受入れられるような議会になっていくのかなと日々考えていると思うんですよね。それが理想だったりするんで、そういったものをこの議会活性化委員会で皆さんで共有して、目標ここならというのがそのうちつくりあがっていくんだろうということをわたしも期待しています。そこが大切かなと思っております。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） あくまで現状分析ですよ、やることとしては。その改善とかギャップを埋めるというのは次のステップだと思っていて、現状分析に絞った話であれば、今日の話でわたくしは賛成です。Bにするとかそういったことも含めてスケジュールが一番大事だと思うので、いつまでに何をやってどういう中身でというのを委員長、副委員長で進めていただければいい方向に行くと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。そしたら、委員長、副委員長、事務局のほうでいつまでにやれば間に合うか、そういったところをできれば早めに連絡いたしますので、それまでに出していただいて、はじめての評価検証ということなので、どういう結果になるかまだわからないですけども、いい方向にいけるようにしたいと思いますので、皆さまのご協力よろしく願いいたします。

鈴木委員。

○10番（鈴木俊一君） これが議会の憲法だと谷仲委員からあったんですけども、憲法と考えるのだったら、前文も入ってくると思うんですよ。憲法前文も判例で判断基準になるとい

うことがうたわれているので、最初の小美玉市議会が最初の目的これが達成されたかというところ、スタートは前文にあると思うので、前文も裁判規範になるという判例もあるので、前文入れておいたほうがいいのかなど。1条からじゃなくて入れておいたほうが、目的が制定した全体像が入ってくると思うので、憲法前文、我々が日本国民は公正に選挙された憲法前文、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和に生きる権利を有するというのが判例で。これが憲法前文が裁判の1条、2条とかでなくても、判決でなるかならないかでもめてなる。だから原点は前文というのは、前の文と書いた前文にあると思うので、これが達成されていれば1番でね、だから1条の前に前文と入れておくのも必要かなと思ったんです。

○副委員長（真家 功君） そこまでやる、やらないよ俺。

○10番（鈴木俊一君） この原点がこれかなと思ったので、この決意と前文ね。

○副委員長（真家 功君） 難しくなるでしょうよ。

○委員長（村田春樹君） 取りあえず今回初めてなので、出してきた評価シート案のほうでやらせていただいて、よろしいでしょうか。

[「はい」の声あり]

2. その他

○委員長（村田春樹君） 次に、その他に入ります。

皆さん何かございましたらお願いします。

真家副議長。

○副委員長（真家 功君） ずっと前から思っていたんですが、これも活性化委員会から提案ということで出したほうがいいのかなど思っていたのですが、議員定数の関係とか議員報酬の関係とか、この辺も選挙前ではなくて、何年か前から検討するのがいいのかなど思っていて、そういう提案もどうかと思うのですが。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。議員定数と報酬特別委員会が約1年前ぐらいにできて4回ぐらい委員会として開いて検証したりとか、いろんな場所に視察研修に行ったりしたんですけども、その中で結果として前回は定数のほうは現状維持ということで、報酬のほうもその時代にあわせてという形で確か決まったと思うのですが、前回選挙前ということで皆さん選挙に関わることもありましたが、選挙前ではなくて長いスパンでそういった議論をしていかなければいけないと思いますので、一度そのことに関しましても議長に先ほどいろいろアドバイスもらったりしたんですけども、どこか研修視察に行くのもいいと思

うのですが、一度このことに関して、議員定数とか報酬のことに関して茨城県議会のほうで、一度参考人という形で、今、小美玉市によく来ていただいている茨大の馬渡教授のほうが、県議会のほうで一度そういった話もされたというのがありますし、小美玉市内でもいろんなところで馬渡教授のほうに助けていただいている部分もありますので、議員定数報酬に関しまして、講師として議長呼んでいただくということも大丈夫なんですかね。そういったことで、まず特別委員会とか設置する前に、一度そういった方の講師の話聞いて、どういう方向性にするかというの必要だと思いますので、有識者として話しを、講師をしてもらっても。

香取委員。

○7番（香取憲一君） それは馬渡先生に来ていただいて、お話しを聞くというのは非常にいいと思いますけど、それは調査研究特別委員会を、わからないですけど、発足する前にしたほうがいいということですか。

○副委員長（真家 功君） 前というのは、この活性化委員会。

○委員長（村田春樹君） 活性化委員会だけではなく、全議員で一度講師の先生に講師として来てもらって話を聞いた上で、どうするかというの必要なのかと。

香取委員。

○7番（香取憲一君） その結果で、委員会を立ち上げる立ち上げないという結論を出そうということなんですか。

○委員長（村田春樹君） 結果というわけではないですけども、こういった考えもあるというの聞いておいて損はないのかと思うんですよ。前回は視察先というのが、どちらかというと自分たちが今住んでいるところより上のほうに行きましたけれども、そういったいろんな話も聞かせていただいて参考になったと思いますが、それだけではなくて、いろんな角度から助言であったりいろんな話を聞いた上で、議論していくのも必要なんじゃないかというふうに思っております。

香取委員。

○7番（香取憲一君） 全議員に聞いてもらうということですか。

○委員長（村田春樹君） そうです、そのほうがいいですね。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） この間の特別委員会の結果はいつ出ましたっけ、岩本特別委員長の結果はいつ出ましたか、出たばかりですね。

○委員長（村田春樹君） 出たばかりですね。

○13番（谷仲和雄君） 出たばかりだから、出たばかりでまた調査しましょうという話しですか。

○委員長（村田春樹君） 調査する前に、一度馬渡教授の話を聞いてみるのもいいんじゃないかと。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） 調査とか、特別委員会とかそういう話しは別にして、そういう話しを聞くこれはいいと思いますけど、この間特別委員から報告出たばかりで、また調査研究しましょうみたいな、そうすると、じゃ前の特別委員会はなんだったんだという話しになっちゃう、そこのところは委員長としてどういうふうに考えているか、わたしの個人的な意見。そういう声を聞くのはいいんですけど、それをまた調査研究に繋げていきたいと思いますよ、意図的な流れだと思いますね。この間特別委員会の結果、委員長報告出ましたよね。あれ出てからどれぐらいの期間今空いているんですかという話しですよ。特別委員会の協議とか調査だつてこれ莫大なエネルギーかかっているんですよ、特別委員は。それぐらいエネルギーかけて特別委員会で結果を出しているんで、そこのところはよく考えていただきたいと思いますね。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。ここで暫時休憩とさせていただきますと思います。

午前11時12分 休憩

午前11時29分 再開

○委員長（村田春樹君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

一度議会活性化委員会の中で、議員の資質向上のための研修ということで、茨大の馬渡教授のほうに講習をやっていただきたいと考えておりますので、スケジュールはこちらのほうでやらせていただきたいと思いますので、後日それに関しまして皆さまにご報告させていただきますと思います。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） 復唱で確認させていただきます。さっき、休憩前の流れの中で、特別委員会定数とか報酬、あくまでもほんとにテーマというので、絶大な莫大なエネルギーが各委員さんかかります。そうすると、活性化の本来の特別委員会の趣旨というところがどうしても、こっちのほうが大事だと思うんです。先ほどお話しありましたけども特別委員会につい

ては議長の名で議運にはかって、特別委員会そういうものをつくる前段としての講演会としての位置付け、これはなんら問題はない。ただ、この活性化委員会で特別委員会どうですかというのではなくて、それはあくまでも議長が必要だからつくりますというのが本来の筋であって、そこのところが確認できれば問題ないです。

○委員長（村田春樹君） 今回、副委員長のほうから提案ありましたことに関しましては、議会活性化のほうで提案させていただくということではなくて、資質向上の講習を受けて、それから議長に判断してもらうような形ということで、よろしいですよ。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） 香取委員。

○7番（香取憲一君） 今のでわたしも理解しました。ただ、ひとつの意見としては、真家副委員長が口笛を切っていただいた、意見を出していただいたのは、ほんとわたしそれも凄いエネルギー、勇気のいることだなと思いますので、そこら辺は皆さんと共有していただければいいかと思います。

以上です。

○委員長（村田春樹君） そのほかございますか。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 全然全く話別なんですけど、一般質問のときに、部長さんが自席から立って真ん中まで行くじゃないですか、あの時間って凄くもったいないと思っていて、質問もすごい近い執行部の部長さんだったら別に楽なんですけど、例えば佐々木部長とかぐるっと回ってくる人たちに関して、こっちも端的に、じゃ、これはどうですかという質問ってできないですよ。例えばそこのところ再質するときに、そこのところどうですかと戻ってすぐに、またすぐに登壇してもらわなければならないというタイミングとかって一般質問しているときに気になるところで、ほかの議会見ていると、執行部の部長さんその場で立ってマイクがあるのでしゃべって答弁をしているので、そこはスムーズだなという印象を受けていて、議員は真ん中まで行って話すのは問題ないですけど、逆に議員の前にあるマイクはいらないから、執行部のほうに付けていただきたいと。執行部の皆さんに、あそこで委員会やるということはまずないじゃないですか、そういうふうなところを削っていったら、もっと効率よく一般質問長くかからずにおわるのではないかと、ひとつ提案でそれが可能かどうかというところを検討していただければなと思います。

○委員長（村田春樹君） わかりました。

長島議長。

○議長（長島幸男君） ずっと前は対面越しではなかったんだよね、質問する方も議員も。それがいろいろ検討した結果対面ということで。今、山崎議員が言ったように、1回ぐらいの再質問ならいいんですけど、何回もとなるとわたしも見て席に着いたのを確認してからお話しするような形をとっているの、それも検討課題のひとつとして考えてみます。

○委員長（村田春樹君） そのほか何かございますか。

鬼田委員。

○1番（鬼田岳哉君） 前回出ました中学生の見学の話と、委員長から今後倫理条例をどうしていくかの話が出たと思うのですが、前回からの進捗等ございましたら教えていただきたいと思います。

○委員長（村田春樹君） 長島議長。

○議長（長島幸男君） これはまだ教育長と具体的な打ち合わせはしていないので、近々のうちにお話ししたいと思いますので、その件についてはまた分かり次第皆さまのほうにお話しします。

○委員長（村田春樹君） 倫理条例のほうなんですけれども、今まだ調べている最中なので、次回の委員会、または次あたりになると思うんですけど、皆さんのほうに情報共有しながら、変えるべき点があるのかとか検証のほうも大事なので、そちらのほうもやりつつということで、よろしくをお願いします。

そのほかございますか。

[「発言する者なし」]

○委員長（村田春樹君） なければ、副委員長に変わりたいと思います。

○副委員長（真家 功君） 長時間にわたりお疲れさまでした。以上をもちまして、議会活性化特別委員会を閉会いたします。

午前11時38分 閉会